

福祉のまち美作市の実現に向けて

—地域福祉活動計画を羅針盤として—

美作市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員長
高知女子大学 社会福祉学部 教授 小坂田 稔



少子高齢化が急速に進む美作市において、地域福祉の推進は喫緊の重要課題となっています。どんなに重い病気や障がい、介護や育児などの様々な生活課題を抱えたとしても、長年住み続けてきた地域で安心して、いきいきと暮らし続けていくことはだれもが望むことです。

しかし、こうした暮らしの保障は、そんなに容易なことではありません。ただ漠然と同じような取り組みを進めていくだけでは、到底実現不可能といえます。こうした暮らしの実現のためには、船が目的地にたどり着くために羅針盤や航海地図が必要なように、地域福祉という実践にも羅針盤や航海地図の役割を持つものが必要となります。それが今回策定された「美作市地域福祉活動計画」です。

この計画は、アンケート調査等に寄せられた多くの地域住民の皆さんの貴重なご意見と社会福祉協議会の職員の皆さんの思いを基に、住民代表の計画策定委員の皆さんの熱心な議論の積み重ねにより策定されたものであり、平成23年度から平成27年度までの5年間の地域福祉実践の道筋を示したものです。今後は、この計画を活動の羅針盤として、美作市の地域福祉は推進されていくこととなります。しかし、この計画がめざすゴールにたどり着けるかどうかは、美作市に暮らす住民の皆様、そして社会福祉協議会、行政、さらには福祉活動にかかわるすべての関係者が、美作市の未来を見据えたしっかりとした地域や暮らしづくりへのビジョンとその実現に向けた熱い思いを持ち、しっかりと協働していけるか、推進のための活動に取り組んでいけるかどうかにかかっているといえます。全国のすぐれた地域福祉実践が行われているところをみると、そこには一つの共通点があります。それは社会福祉協議会職員の地域福祉にかける強い使命感であり、地域住民の熱い思い、お互い様意識の存在です。このことは社会福祉法第4条の示す理念と重なるものでもあります。

この地域福祉活動計画は今産声を上げたばかりであり、まだまだ不十分なものです。今後は、ひとつひとつの取り組みを進めていく中で皆さんの知恵と思いをこの計画に加えていただき、より充実したものに育てていただければと願っています。他のどこにも例のない、安心した暮らしやあたたかな地域の実現に向けて、「いのちと暮らしを守る」地域福祉の推進に向けて、すべてのみなさんのご理解と熱い思いを持ってその第一歩を踏み出していただければと思っています。5年後の美作市に「みんなで支え みんなで築く 福祉のまち 美作」が実現していることを楽しみにしています。